

【平成 30 年 2 月 パート1】

＜地域包括ケアの推進＞ 多職種が地域包括ケアの情報発信について話し合いました

平成 30 年 1 月 30 日（火曜日）午後 6 時から大崎市役所にて市内の医療と介護の各専門職の代表 14 人がワーキングチームとなり、地域包括ケアについてどのように情報を発信していくかを話し合いました。

このワーキングは、平成 29 年 11 月に開催した大崎市地域包括ケア推進懇談会の中で、地域包括ケアについてわかりやすく市民に情報を発信していくアイデアが話し合われ、各代表が集まって今後具体化していこうと決まって開催されたものです。今回は健康づくり（介護予防）や在宅医療・介護連携についてどのように発信するかを検討しました。今後も継続して開催し、具体的な計画を立てていきます。



＜地域を支える仕組みづくり＞ 岩出山地域づくり委員会で取り組みがはじまりました

平成 30 年 2 月 1 日（木曜日）から岩出山地域づくり委員会が生活支援体制整備事業を活用した地域を支える仕組みづくりの取り組みが始まりました。平成 29 年度は、地区内の各種団体・行政区長・民生委員・社会福祉協議会・地域包括支援センターを含めた地域内の勉強会を開催して、顔の見える関係を築いていきます。

次年度以降は、ワークショップを実施して必要性を感じている高齢者の生活支援等をはじめとした課題を解決するために「岩出山地区内人材バンク」のシステム構築を行い、少子高齢化や人口減少等さまざまな課題があるなか、地域で支え合いの体制整備を進めていきます。

<地域を支える仕組みづくり> 地域支援コーディネーターが地域づくりの話し合いをしました

平成 30 年 2 月 8 日（木曜日）午後 1 時 30 分から清滝地区公民館において平成 29 年度より 2 カ月に 1 度行われている、地域支援コーディネーター意見交換会を開催しました。地域支援コーディネーターとは、地域の支え合いを推進する地域の調整役（意見を集約する人）であり、今回で 5 回目となる意見交換会は、平成 30 年 2 月 1 日から新たに事業に取り組んでいる岩出山地域づくり委員会の地域支援コーディネーターも加わり、5 団体での意見交換になりました。

今回の意見交換会では、地域支援コーディネーター自身がスキルアップし地域内で活動できるように勉強会の企画をしました。この勉強会は平成 30 年 4 月に開催予定です。

岩出山地域づくり委員会がメンバーに加わりました



<医療と介護の連携> 松山・三本木・鹿島台地域の看護師の集いが開催されました

平成 30 年 2 月 16 日（金曜日）午後 3 時から大崎市民病院鹿島台分院にて、「志田地区看護職の集い」が開催されました。

この会議は「大崎地区看護職ネットワーク構築運営会議」にて、身近な地域でさまざまなところで働く看護職の「顔の見える関係を構築しよう」と企画されたもので、9 月の鳴子温泉地域に続いて 2 カ所目です。今回、病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等計 13 人が集まり、それぞれの職場の取り組みや、連携を深めるための提案等が話し合われました。次年度も引き続き、この地区で集まっていこうと決まりました。今回参加されなかった志田地区の看護職の皆さん、ぜひ次回ご参加ください。また、平成 30 年 3 月は岩出山地域の看護師の集いが開催される予定です。

顔の見える関係づくりに向けて

